

A3477

2000系・特急 宇和海 3両セット

予価:21,600円(税別)

JANコード: 137536 カートン内入数: 12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)
実車	1989(平成元年)年、JR四国ではTSEと呼ばれる試作車両を製造しました。TSEとは「TransShikoku Exprimental(四国横断実験)」の事で、高松・岡山～高知・松山を2時間程度で連絡する車両を開発するため、曲線通過速度向上を主眼とし、世界初の制御付振り子を搭載したディーゼルカーです。この試作車をベースとして翌年から量産されたのが2000系気動車です。TSE同様の軽量ステンレス製車体が採用され、前面にはFRPによって丸みをつけられました。流線型の非貫通型と切妻の貫通型2種類の先頭車が用意され、旅客需要に応じてきめ細かな増解結が可能です。連結器は電気連結器付密着連結器に変更され、貫通先頭車の扉が開き戸に改められるなど、実用性が重視されています。車体外板にはJR四国のコーポレートカラーである水色の帯が巻かれ、前面ライト周辺には遠方からの視認性向上のため、警戒色のイエローが塗られてアクセントになりました。また、TSEでは省略されていた列車愛称表示器が装備されました。「宇和海」は松山～宇和島を結ぶ特急列車で、松山駅で岡山・高松からの特急「しおかぜ」「いしづち」と連絡し、県内各地を結ぶ役割を果たしています。半数以上の「宇和海」は下り向きにも貫通型先頭車が連結された身軽な3両編成で運転されています。
商品概要	・マイクロエース気動車シリーズの更なる充実 ・ヘッドライト、テールライト点灯。LED使用 ・フライホイール付動力ユニット搭載

ステンレスボディにブルーの帯

再生産

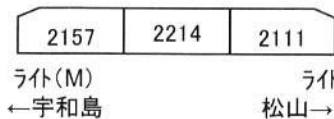


JR四国商品化許諾済

- オールモノクラスの3両編成
- 客室扉窓が大窓の時代を再現
- フライホイール付動力ユニット搭載
- コンパクトなレイアウトに好適

**JR四国を代表する
2000系特急気動車!
多くのご要望にお応えし
2017年末再生産です。**

編成図 A3477



オプション 幅狭室内灯:G0005/G0006/G0007/G0008, マイクロカプラー密連・灰:F0002

付属品 行先シール